

連合神奈川議員団会議夏期セミナー 選挙法を学ぶ

連合神奈川議員団会議は9月1日、横浜・ホテルキャメロットジャパンで夏期セミナーを開催。労働問題に強い弁護士のおおろい洋一氏を講師に招き、選挙法に基づく選挙違反を犯さない選挙の闘い方を、クイズ形式なども取り入れ学んだ。

2006勤労者囲碁将棋大会 静かなる熱い戦い

連合神奈川は県労協協との共催で『2006勤労者囲碁将棋大会』を開催。囲碁の部19名、将棋の部17名が参加し、熱戦を繰り広げた。対戦はスイス方式で行われ、参加者全員が最後まで熱戦を繰り広げた。

政策づくりへ…施設見学交流

2006政策・制度要求づくりに向け、連合神奈川は組織内議員らとともに県内各施設を視察・見学し、関係者らと意見交換を行った。

学校など教育問題で見学

校内に農場を持ち、野菜の栽培などユニークな課外授業を展開している山元小学校、鶴見養護学校、光陵高校を訪問、見学や意見交換を行った。

リニア実験施設を見学

山梨県都留市のJR東海リニア見学センターを訪問。当日は試乗会が行われており、超伝導リニアモーターカーの実験機が時速500kmで走る姿を展望室から見学し、説明を受けた。

悩みを聞かせて…労働相談

連合神奈川は横浜地域連合などとともに、9月6日、桜木町駅前で、連合の日街頭行動を展開。働く者の悩みや職場での問題などを解決する『労働相談』の開催などを呼びかけた。

2006神奈川16区衆議院補選10月10日告示・22日投票開票投票へ行こう！

期日前投票は11日から投票日前日まで、お近くの各市町村役所などで、朝8時30分から夜8時まで受け付けています。くわしくは神奈川県選挙管理委員会のホームページなどでご確認ください。

KANAGAWA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION (1)

後藤祐一氏 民主党神奈川16区総支部長…熱く語る

第17回多聞善塾「まちづくり三法がめざしたもの」

連合神奈川は8月22日、ワークピア横浜で第17回多聞善塾を開催。後藤祐一氏(民主党神奈川16区総支部長)を講師に迎え、「まちづくり三法がめざしたもの」と題し講演を受けた。

毎回、有識者を講師にさまざまな社会問題などを学習する「多聞善塾」。今回は民主党神奈川16区総支部長・後藤祐一氏を講師に迎え、開催された。柏木副事務局長の司会で開会し、白石会長が主催者を代表してあいさつ。「(衆議院補選について)民主党は東と西に分けて東は全て神奈川16区に集中させ(西は大阪9区)、この2議席の奪回に全勢力を上げている。世襲、二世は必ずしも悪いとは言わないが格差社会を固定化することにつながる」と語った。

会場からの質問

サービス・流通連合… 向園(むこぞの)さん

今回のまちづくり三法で意欲のある市町村は、中心市街地活性化協議会をつくってTMO(タウン・マネージメント・オーガニゼーション)に替わるものと地域を活性化するのだと書かれています。サービス流通連合の産別の意見ですが、ここに労働組合をかませて町づくりに対しての意見を言わせてくださいと提案をしています。中心市街地活性化協議会の経緯を教えてください。

講師：中心市街地活性化協議会の法制化というのがあります、これは正にTMOに替わるものです。大事なことはやる気のある人が入るべきです。労働組合がこの町に、こういう形で貢献する、だからこの協議会に入れてくださいと具体的な提言をする。そういう具体的な実績を残していくこと。全体の形としてのこの協議会の中に色々な人が入れるようにして本当にやる気のある人が入れるようにすることが制度的話で、あとはやる気のある人が具体的に固有名詞でいるかどうか。一つ例を作ってください、そうすれば労働組合の評価は物凄くあがると思います。

阿部市長は、初当選以来4年間、市民の目線で公正で公平な市政を心がけてこられました。特に働く人たちの生活実態や、勤労観にも耳を傾け、川崎地域連合や連合神奈川の声をよく聞いてくれました。将来像を語り、夢や希望を市政にと努めてこられました。

住む街川崎・働く街川崎・音楽の街川崎など、川崎市を日本や世界に誇れる街にしようと、こよなく情熱を注がれています。阿部市長の政策は緒についたばかりです。この選挙でしっかりと信任を与え、阿部市長の政策実現に期待しようではありませんか。

講演要旨

「まちづくり三法」の流れは二つあり、郊外に大型店ができて中心部がさびれていくという議論。郊外に大型店ができ、80～90年代にアメリカが日本に求めていたのはこの大店法。本来都市計画は市町村がつくるもの、都市計画法は地方分権と中央とのバランスの本質的な問題であり、国は勝手にやりたい市町村はどうぞやってください、しかし補助金は出ませんという仕掛けにした。ここが今回のまちづくり三法の本質。私は補助金を出すなら、中心市街地を良くするため一本の太い補助金にし、そのかわり郊外開発するところには一切出さない方がよいと思う。市町村の役場の人には商売感覚がない。そこで皆さんに訴えたいのは、皆さんが組織というものはどういうものか、指導や事務局的なものをやってみるとか、商店街に無

いところを補うことをしてほしい。現役の段階から将来定年後の課題としてまちづくり商店街の活性化というテーマは手軽で面白いと思う。世の中会話がどんどん無くなって行って、顔を見合わせてのコミュニケーションが無くなったのがこの国の一番の危機だ。人と人の会話を倍にすると日本が幸せになると思う。現場に行って苦しんでいる人の声を聞いて、その原因が制度の問題であれば直せば良い。それをやらないで何が政治だと、我々の生活を見ていて小さいことでも一つ一つ着実にやっていくことが本来の政治であり、民主主義ではないかと思う。日本に本当の民主主義を取り戻したい」

KANAGAWA LOCAL OF JAPANESE TRADE UNION CONFEDERATION (2)

● [カレント目次に戻る](#)